

## 審議会等の会議録

審議会等名	令和7年度第1回海老名市社会教育委員会議
開催日時	令和7年6月19日（木）10時から12時10分まで
場所	えびなこどもセンター 201会議室
出席者	<p>社会教育委員7名  金田委員、栗山委員、里村委員、鈴木委員  中谷委員、中野委員、松島委員</p> <p>事務局7名  教育長 伊藤 文康  教育部長 江下 裕隆  教育部次長 吉川 浩  教育部参事兼学び支援課長 田中 歩  学び支援課学び支援係長 永田 祥子  学び支援課副主幹兼指導主事兼社会教育主事 重岡 慎一郎  学び支援課学び支援係主事補 小島 和也</p> <p>指定管理者2名  中央図書館 有富氏  有馬図書館 大河原氏</p>
傍聴人数	0名
公開の可否	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部非公開・非公開の理由	議題（4）については、予算に係る内容であるため非公開
議題	<p>（1）県社教連理事及び学校・地域ネットワークづくり運営委員の選出について</p> <p>（2）海老名市社会教育計画について</p> <p>（3）えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて</p> <p>（4）令和7年度社会教育関係団体への補助金について</p> <p>（5）海老名市立図書館について</p> <p>（6）その他</p>

資 料	<p>(1) 次第</p> <p>(2) 席次表、出席者名簿</p> <p>(3) 社会教育法、図書館法（抜粋）</p> <p>(4) 海老名市社会教育委員条例、海老名市社会教育委員会 議規則</p> <p>(5) 神奈川県社会教育委員連絡協議会「社会教育委員活動 のためのハンドブック」（抜粋）</p> <p>(6) 海老名市社会教育計画</p> <p>(7) えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシ ンポジウムについて</p> <p>(8) 令和7年度 海老名市社会教育関係団体への補助金に ついて</p> <p>(9) 海老名市立中央図書館「2025年度事業計画」</p> <p>(10) 海老名市立有馬図書館「令和7年度の取り組み」</p>
-----	---

## ○会議の内容

<b>1 開会</b>	
【事務局】	定刻となりましたので、令和7年度第1回海老名市社会教育委員会議 を開会いたします。 これより委嘱状の交付を行います。
<b>2 委嘱状交付</b>	
【教育長】	(伊藤教育長より委嘱状交付)
<b>3 あいさつ</b>	
【事務局】	続きまして、伊藤教育長よりごあいさつ申し上げます。
【教育長】	(伊藤教育長あいさつ)
<b>4 自己紹介</b>	
【事務局】	令和7年度第1回目の会議となりますので、委員の皆様と事務局から 自己紹介をお願いいたします。
【委員】	(委員自己紹介)
【事務局】	(事務局自己紹介)
<b>5 社会教育委員の役割について</b>	
【事務局】	(関係法令、規則に沿って団体、会議、役割について説明)
<b>6 議長・副議長の選出</b>	
【事務局】	それでは、海老名市社会教育委員会議規則第2条により、委員の互選 により議長・副議長を1名ずつ選出したいと思います。いかがでしょう か。
【委員】	事務局一任でいかがでしょうか。

【事務局】	ありがとうございます。事務局案といたしましては、昨年度に引き続き議長を橋本委員、副議長を金田委員としたいと思いますが、これにご異議等ございますでしょうか。
【委員一同】	(異議なし)
【事務局】	ありがとうございます。皆様にご賛同いただきましたので、議長は橋本委員、副議長は金田委員となりました。 それでは、これより議事に入ります。金田副議長、議事の進行をお願いいたします。
<b>7 議事</b>	
【副議長】	それでは、議事を進めさせていただきます。 1点目、県社教連理事及び学校・地域ネットワークづくり運営委員の選出について事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(県社教連理事、学校・地域ネットワークづくり運営委員の役割について説明) 事務局からの提案として、昨年度に引き続き理事を金田副議長に、学校・地域ネットワークづくり運営委員を中谷委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
【委員一同】	(異議なし)
【副議長】	ありがとうございます。皆様にご賛同いただきましたので、県社教連理事は金田副議長、学校・地域ネットワークづくり運営委員は中谷委員となりました。続いて2点目、海老名市社会教育計画について事務局より説明をお願いいたします。
【事務局】	(海老名市社会教育計画について説明)
【副議長】	事務局の説明が終わりました。前回の会議では、目指す子どもの姿だけではなく、目指す大人の姿についても計画に盛り込むことを検討していくことになっていたかと思います。ご意見等いかがでしょうか。
【委員】	大人が夢中になっている姿を子どもに見せてあげることが大切ではないか。夢中になっている大人の姿を子どもたちが間近で見られることや、地域の中で接点を持つことができるのがよいと思う。
【委員】	体験を通した学習機会の充実が子どもたち成長に繋がるのではないか。
【委員】	P T Aで作った合唱団に参加したが、最初は気乗りしなかったもののいざ参加してみるととても楽しかった。大人が楽しんでいる姿を子どもに見せることは非常に大切だと思う。
【委員】	子どもの興味から出発することもある。子どもを真ん中にして大人を巻き込むような仕組みづくりがよいのではないか。

【委員】	今の子どもたちは学校から出るとなかなか挨拶ができない。地域で大人が率先して挨拶をする姿を見せることが大切ではないか。
【副議長】	現行の社会教育計画には5つの目指す子どもの姿が定められている。これに付随する目指す大人の姿を検討していくのはいかがか。
【委員】	現在は働き方改革などで、父親たちの終業時間も早まってきている。私の会社でもそういう取り組みを進めている。できた時間を、子どもに対するボランティア活動に割いてもらうような取り組みがよいのではないか。時間は絶対あるはずである。
【副議長】	大人の思いやりを育てる取り組みができたらいと思う。思いやる力を子どもたちにも見せていきたい。地域は地域で守るという意識も非常に大切だと思う。
【副議長】	今回出た意見を元に次回の会議で手立てなども検討していくので、よろしくをお願いします。
【委員】	目指す大人の姿の年齢層はどれぐらいを想定しているのか。
【事務局】	前回の会議では、委員の皆様からは子どもに関わる大人として、直接関わる保護者の他に、関わる団体の大人の方も想定しながら意見をいただいていた。
【教育長】	子どもの視点で考えると、若い人もご年配の方も大人である。今後は若者をどう巻き込んでいくかが社会教育の鍵と考えている。子どもから見た大人という視点が大切。
【委員】	若者とご年配の方はかなり年齢差があるが自分の趣味などで意気投合してつながりが生まれることもある。こういったつながりは大切ではないか。
【副議長】	若い方たちを巻き込んでいくことは確かに大切である。子どもたちも年齢が近い若者の方が関わりやすいところはあると思う。
【委員】	あそびっ子クラブパートナーにも、大学生がいる。子どもたちも年齢が近く身近に感じるようで、若い人の力は必要だと感じた。
【委員】	自ら主体的にボランティアへ参加してくれる方が少ない。また、支援してくれる方を支える仕組みが弱いと感じる。これではなかなか育たない。
【副議長】	いただいた様々な意見を今後の会議で検討を重ねて計画に盛り込んでいきたいと思えます。それでは3点目、えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについてを議題とします。事務局からご説明をお願いいたします。
【事務局】	(えびなっ子ふれあいフェスタ・えびなっ子いきいきシンポジウムについて説明)

【副議長】	事務局から説明がありました。説明の中で、事務局からフェスタの事前申込制の可否について話がありました。この点について委員の皆様からご意見ございますでしょうか。
【委員】	昨年度太極拳をやらせていただいたときは、事前申込なしでやったが、指導する側が参加者を見ながら進めたので特に問題はなかった。人数に枠を設けて事前申込制にすると敷居が高く感じてしまうこともあると思う。
【委員】	協力してくれる団体は活動のアピールも兼ねて協力してくれているだろうから、一定の参加者数を確保する必要があると思う。その点、事前申込制にした方が事前に参加者を確保できてよいと考える。
【委員】	事前申込制ではあるが、当日枠に余裕があれば参加可能とした方が良い。
【委員】	昨年度は、大ホールで実施したダンスで人数に余裕があったので団体の方と調整して当日飛び入り参加をOKにした。茶道のように、準備している道具の個数等が決まってしまう体験は難しいと思うが、当日来て、せっかく興味を持ってくれたのであれば体験してもらいたいという思いがある。
【副議長】	確かに、当日せっかく来て興味を持ってくれたのに事前申込制であるがために体験できないのはかわいそうである。
【委員】	昨年はカンフーの横でボッチャの体験をしていた。仕切りがなかったためどちらかを体験した子が隣の体験を見てもう一方を体験してくれるケースもあった。可能であればそういった形にしていきたい。
【副議長】	協力してくれる団体に心当たりがあれば、ぜひ今後も提案してもらいたい。
【委員】	参加する対象の子どもは決まっているのか。来場者数など計画はあるのか。
【事務局】	基本的には、小学生から中学生の子ども。未就学児も参加はできる。一昨年、こどもセンターで開催した時は180名程度の参加があったが、正確に参加人数を集約しているわけではない。事前申込制の体験については上限人数を定めていたが、その他の体験は定めておらず、会議の場で目標値は出していない。団体数についても、部屋の数や同じ部屋でできるか否かをそれぞれの団体から聞き取って調整しながらやっているため、具体的には決めていない。例年だとこどもセンターで実施した時は8団体程度であった。
【副議長】	11月1日の開催へ向けて、皆様のご尽力をいただきながら準備を進めていければと思います。

	続いて4点目、令和7年度社会教育関係団体への補助金について、事務局より説明をお願いいたします。
海老名市情報公開条例第7条第3号の規定により、非公開	
【副議長】	続いて5点目、海老名市立図書館についてです。初めに、海老名市立中央図書館について、中央図書館館長有富様お願いします。
【指定管理者】	(海老名市立中央図書館 2025年度事業計画について説明)
【副議長】	ありがとうございます。こちらに関してご意見等いかがでしょうか。
【副議長】	宇宙入門講座などのイベントは、子どもの興味の幅を広げることに繋がるので非常によいと思う。参加してくれた子どもがイベントをきっかけに本を読むようになったという話も聞いた。
【副議長】	続いて、有馬図書館について、有馬図書館館長大河原様お願いします。
【指定管理者】	(海老名市立有馬図書館 令和7年度の取り組みについて説明)
【副議長】	ありがとうございます。こちらに関してご意見等いかがでしょうか。
【副議長】	イベントに申し込みをしたが、申し込み開始から1週間経過した頃にお電話したがすでに締め切られていた。非常にニーズのあるイベントを実施していただいていると感じた。
【指定管理者】	今後、人気の高いイベントについては抽選制にすることを検討したい。
【副議長】	ありがとうございます。議事は以上です。全体を通してご意見・ご質問等ありますでしょうか。特になければ、進行を事務局にお返しいたします。
<b>8 その他</b>	
【事務局】	金田副議長、議事の進行ありがとうございました。続きまして、県社会教育委員連絡協議会総会について事務局より報告いたします。
【事務局】	(県社教連総会について報告と説明)
【事務局】	次回の会議については、令和7年7月29日(火)午前10時からを予定しております。別途案内を送付いたしますので、ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。
<b>9 閉会</b>	
【事務局】	閉会のごあいさつを金田副議長からいただきたいと思います。
【副議長】	(金田副議長あいさつ)
【事務局】	これもちまして、令和7年度第1回海老名市社会教育委員会議を閉会いたします。 皆様、今年度もよろしくお願いいたします。